

■仕様・オプション部品

■仕様 SDL-22 超音波界面レベル計

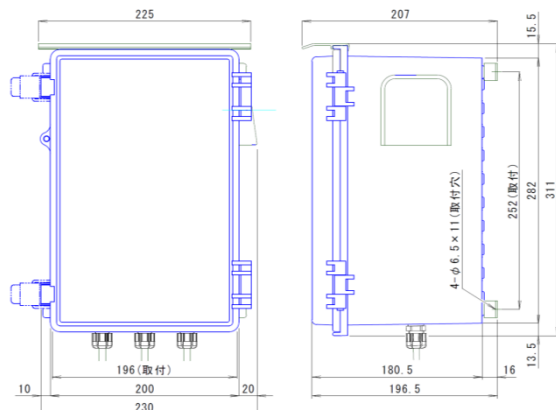
測定方式	超音波パルス反射方式
計測範囲	①0~1m ②0~2.5m ③0~5m ④0~9.99m
分解能	1cm
4-20mA出力	4-20mA/DC/600Ω以下 最短距離アラーム(22mA)、無検出アラーム(2mA/22mA)
表示器	3.5インチTFTカラー液晶 QVGA(320×240ドット)
使用環境	-5℃~60℃ RH85%
電源入力	AC100V~AC240V(単相)
消費電力	約7W(液晶表示モード) 約5W(液晶非表示モード)
超音波センサー	φ68×160mm 400kHz ケーブル長 20m
防雨収納ケース	IPX-6 ABS製 / 重量:2.9kg
適合ケーブル外径	φ4~φ8 ケーブルグランド

■オプション部品

センサー取付パイプ	ステンレスパイプ(1m)、パイプジョイント(ステンレス製)
センサー洗浄器	洗浄ノズル、ノズル取付金具、洗浄ホース(内径)φ10
本体取付金具	収納ケースボール取付用金具(取付バンド1.5m)×2ヶ所

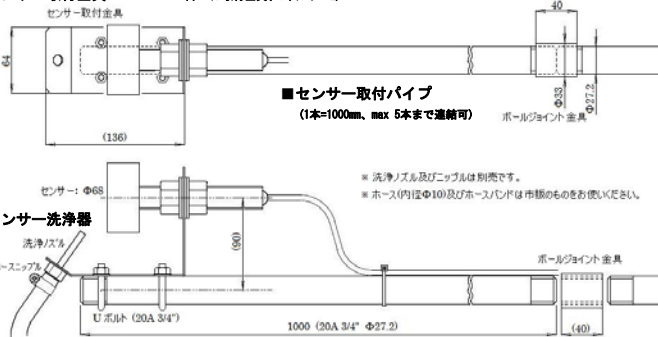
■外形寸法図

■本体サイズ



■オプション

■センサー取付金具 M724-11 (ボール取付金具、M16ルト×2)

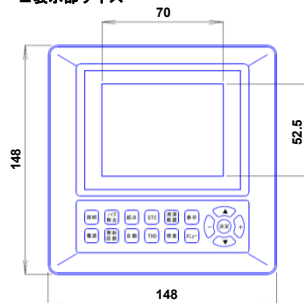


■センサー取付パイプ
(1本=1000mm, max 5本まで連結可)

※ 洗浄ノズル及びケーブルは別売です。
※ ホース(内径φ10)及びホースバンドは市販のものをお使いください。

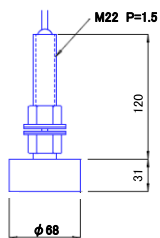
■センサー洗浄器

■表示部サイズ

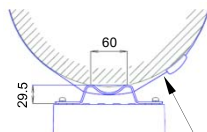


ディスプレイ: 3.5インチ TFTカラー液晶

■センサーサイズ



■本体取付金具 (オプション)



バンド長 1500(MAX) × 2本

⚠ センサーの設置上の注意

- センサーがゆれないように水槽上部構造物にしっかり固定してください。
- 水槽の液面が変化してもセンサーが必ず水中にあるように設置してください。
- センサーは液面に垂直になるように設置してください。
- センサーは水槽の液面より60cm以上離して設置してください。
- センサーは落下しにくいものにぶつきますと破損する恐れがあります。
- センサーをパイプに取り付ける際は、パイプ内に水が入らないようにセンサーケーブルの出口に自己粘着テープ等で防水してください。
- センサーの洗浄は定期的に行ってください。洗剤物や油の付着により検出能力が低下します。
- センサーは泡の発生しない場所に設置してください。泡によって誤動作することがあります。

■お問い合わせは (販売元)

株式会社スズキマリン
静岡県浜松市中央区高塚町300
TEL:053-440-2306 FAX:053-440-2822

(製造元)

ソニックス
静岡県沼津市西島町18-68-1
TEL 090-5631-9566



SDL-22
超音波界面レベル計

沈殿物のオーバーフロー防止に、堆積量の常時監視に、超音波で正確に計測します。

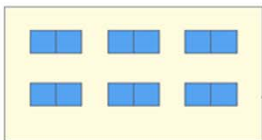
特徴

- さまざまな排水処理施設に対応可能、槽内の沈殿物をリアルタイムに認識
- 界面レベルを判別し易い、カラー液晶採用
- 沈殿物のリアルタイム画像を見ながら、最適な界面計測レベルに設定
- Bモード表示でランダムノイズ・浮遊物・泡の影響など異常動作の確認
- 簡単な設置、[電源]・[センサー]・[出力]のシンプルな配線

用途

- 上下水道・発電所・工場・浄排水処理施設などで発生する汚水沈殿物の計測
- 河川・湖沼・貯水池などのヘドロ、泥、土石などの堆積量の計測
- 水槽、タンクなどのスラッジの堆積量の計測

管理棟



4-20mA 出力

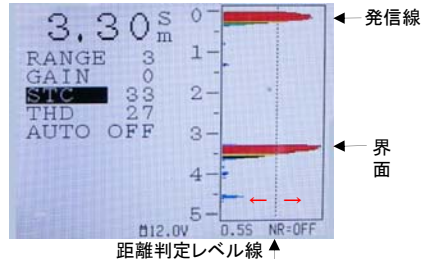
ほとんどの管理施設では4-20mA出力を標準の計測値伝送の手段としております。

4-20mA出力は直流の電流制御のため、離れた設置場所からのケーブル抵抗も測定誤差から排除され、ノイズによる誤動作も少なく安定した計測が可能となります。

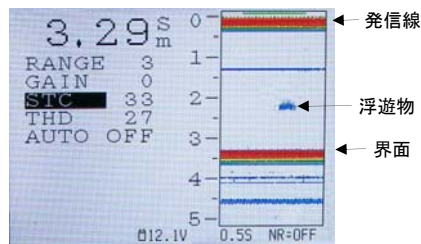
本機は任意に設定した堆積上限レベルに達したとき22mAに、反射が検出されないときには22mAまたは2mAに電流を制御し管理できます。

表示モード

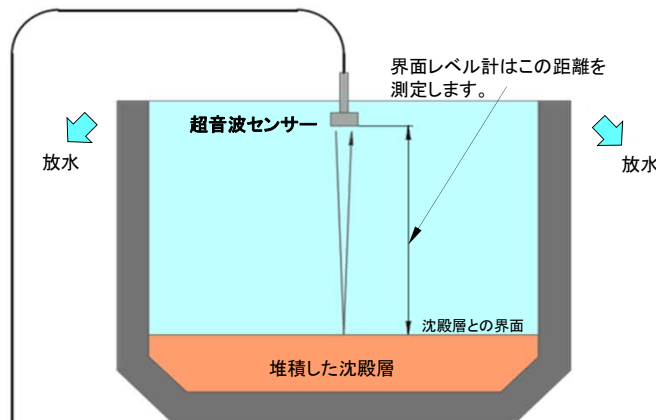
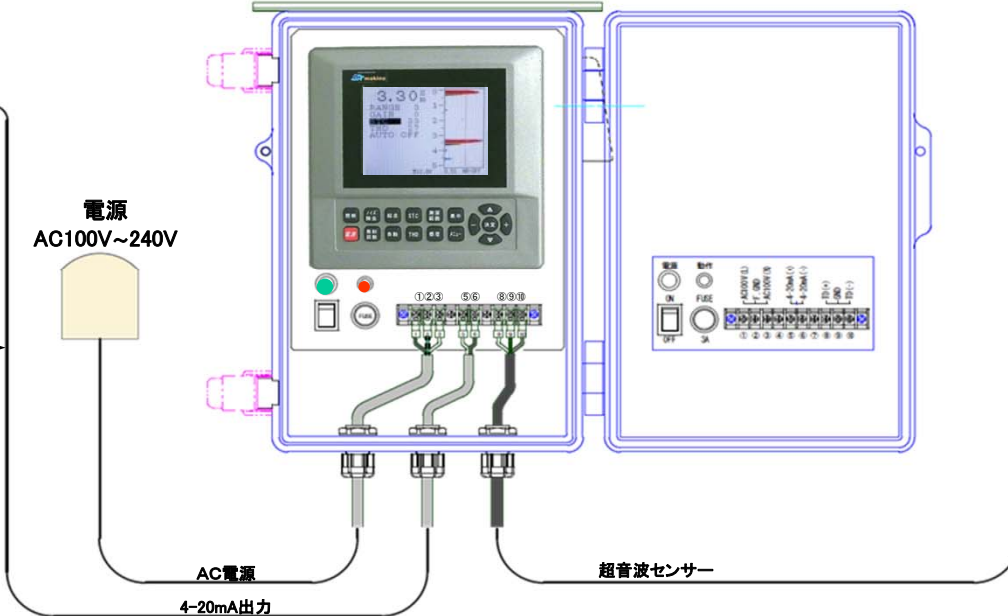
Aモード表示 標準設定画面



Bモード表示 経過画像の表示、浮遊物、ノイズの確認



本体 (ディスプレイ、設定キー、接続端子) 内部構成



■ センサーから発射された超音波が界面に反射して戻ってくるまでの時間を計測することにより界面までの距離を計測します。

操作パネル

簡単な操作で画面を確認しながら細やかな設定が行えます。



キーボード

電源	計測装置側の電源のON/OFFをします。
表示	画面のA/B表示モードを切替えます。
メニュー	表示モードと設定メニューの切替えをします。
測深範囲	水槽の深さにより計測範囲を変更します。
感度	超音波の受信感度を変更します。
STC	表層部のノイズや浮遊物の影響を緩和します。
THD	計測画面で界面の計測レベルを設定します。
起点	堆積物の距離をセンサーからの距離にするか槽底からにするかの選択をします。
自動	感度の自動設定をします。
ノイズ除去	水槽内で発生するランダムなノイズを除去します。
発射回数	計測する超音波の発射回数(発射間隔)を選択します。
照明	液晶表示器の明るさを変えます。
+	数値の設定、条件設定の変更をします。
▼ ▲	メニューの設定項目の選択をします。
決定	数値設定、条件設定の決定をします。

メニュー

豊富なメニューでさまざまな水槽に対応できます。

※警告音は本体内で発生します。4-20mAを接続せずに単独でのご利用の際にご利用ください。

MENU-1 槽内の条件設定をします。	
FULL	最小検出距離で界面がこの設定値になると警告を発生します。4-20mA出力は22mAを出力します。
EMPTY	センサー面より水槽の底までの距離を設定します。
20mA	4-20mA出力の[20mA出力]の距離を設定します。
4mA	4-20mA出力の[4mA出力]の距離を設定します。
UPPER ALM	堆積物の上限を入力し上限に達すると警告を発生します。
LOWER ALM	堆積物の下限を入力し下限に達すると警告を発生します。
4-20mA T/C	4-20mAの応答速度を設定します。
DISPLAY	SURFACE / BOTTOM 計測起点を切替えます。
UNIT	METER / % 計測単位を切替えます。
4-20mA INVALID	界面が検出できないときの4-20mA出力を(2mA / 22mA / HOLD) から設定します。
STC	設定距離までの感度をSTCの値に固定します。

MENU-2 計測に必要な条件設定をします。	
WINDOW	測定距離の更新の際の範囲を設定します。浮遊物などによる誤動作を防ぎます。
DED. SIZE	AUTOにおいて、制御する反射の幅を設定します。
AVERAGE	距離表示の平均サンプル値を設定します。
FREQUENCY	超音波の送信周波数を設定します。
WIDTH	送信パルスのパルス幅を設定します。
INTERVAL	送信パルスの発射間隔を設定します。
VELOCITY	水槽内の液体の音速を設定します。
OFFSET	送受信機の遅れの補正値を設定します。
SLEEP	画面を非表示にするまでの時間を設定します。
BATTERY ALM	内部電源電圧低下時の警告電圧を設定します。